



## 2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベルク

コード番号 9974

URL https://www.belc.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原島 一誠

専務取締役コンプライアンス室長兼財務

問合せ先責任者(役職名) 経理部・業務サポート部・サステナビリティ広報室管掌兼法務担当(氏名) 上田 英雄 (TEL) 049-287-0111

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	107,750	3.9	3,302	△15.0	3,426	△14.1	2,294	△16.0
2026年2月期第1四半期	103,712	11.0	3,885	4.1	3,991	2.7	2,730	4.5

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 2,294百万円(△16.0%) 2026年2月期第1四半期 2,731百万円(3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	110.14	—
2026年2月期第1四半期	131.02	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	229,276	121,593	53.0
2026年2月期	221,376	120,592	54.5

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 121,593百万円 2026年2月期 120,592百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	62.00	—	62.00	124.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	66.00	—	66.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	434,500	2.6	18,000	0.6	18,200	0.2	12,500	△1.4	600.07
	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	454,600	7.4	19,800	10.6	20,000	10.1	13,600	7.2	652.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2027年2月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年2月期1Q	20,867,800株	2026年2月期	20,867,800株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年2月期1Q	36,904株	2026年2月期	36,904株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年2月期1Q	20,830,896株	2026年2月期1Q	20,841,721株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の業績予想の前提条件その他事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が継続することが期待されます。しかしながら、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、また、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢等、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、原材料価格や商品製造コストの高騰に伴う商品調達価格の上昇、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響が大きく、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、価格訴求及びお客様に支持され信頼される店舗づくりを推進いたしました。

主な取り組みにつきましては、以下のとおりであります。

販売政策におきましては、ポイントカード販促及びチラシ価格の強化、自社決済サービスの拡充により、お客様の来店動機を高め、こだわり商品の訴求、接客レベルの向上を引き続き行うことで固定客化を図りました。

商品政策におきましては、プライベートブランド「くらしにベルク kurabelc (クラベルク)」を含めた自社開発商品の取扱いをより一層拡大することで、目的を持ってお買い物に来ていただけるお客様を増やすことに貢献いたしました。

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にしながら、適正な人員配置や省力器具の運用を日々見直し、高い生産性を誇るチェーンオペレーションを推進いたしました。

店舗投資におきましては、2026年4月神奈川県川崎市に「川崎下作延店」、5月東京都江東区に「有明店」を新規出店いたしました。また、既存店1店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買い物空間を提供するための設備の更新を行いました。2026年5月に東京都八王子市の「ぐりーんうおーく店」を閉店し、2026年5月末現在の店舗数はベルク149店舗、クルベ3店舗の計152店舗であります。

物流体制におきましては、商品を産地やメーカーから大量一括調達し、自社物流を活かした配送の効率化等を行うことで、商品の価格強化と品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

一方、グループ会社である「株式会社ホームデリカ」は、新たに稼働を開始したホームデリカ第三工場にて、商品供給体制の増強と価値ある商品提供を図ってまいりました。また、「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給と開発等、当社グループのサービス業務の強化に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、営業収益(売上高及び営業収入)が107,750百万円(前年同期比103.9%)と増収を達成いたしました。売上高につきましては、商品価格において他社と比較した際の相対的安さを実現してまいりました。一方、競争店の影響やお米の対前年同期比較での売上高減少等により、当社単体既存店売上高は、前年同期比100.1%となりました。

売上総利益率は25.8%と対前年同期差0.1ポイント増となり、商品仕入価格の高騰、競争力維持のための価格強化等による影響を受けましたが前年並みの数値となりました。

販売管理費は、売上高販売管理費率24.3%と対前年同期差0.7ポイント増となりました。従業員の賃金上昇を実現しながら、経費コントロールを実施することにより、計画通りの数値にて推移いたしました。売上高の計画未達により、前年を上回る販売管理費率となりました。

各段階利益につきましては、営業利益が3,302百万円(前年同期比85.0%)、経常利益が3,426百万円(前年同期比85.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,294百万円(前年同期比84.0%)となり、増収減益の結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7,900百万円増加し229,276百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,424百万円増加し49,992百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が5,323百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,476百万円増加し179,284百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が1,331百万円及び土地が1,289百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ6,899百万円増加し107,683百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,833百万円増加し58,095百万円となりました。この主な要因は、買掛金が2,965百万円及び1年内返済予定の長期借入金が1,280百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,066百万円増加し49,587百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が2,134百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,000百万円増加し121,593百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が1,000百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月10日に公表しております業績予想から変更はありません。今後、業績に大きな影響を及ぼす事項が発生した場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,847	25,171
売掛金	5,725	7,995
商品及び製品	12,226	11,771
原材料及び貯蔵品	699	702
その他	6,068	4,351
流動資産合計	44,567	49,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	88,816	90,147
土地	48,601	49,891
その他(純額)	15,056	14,646
有形固定資産合計	152,474	154,685
無形固定資産		
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,028	1,042
繰延税金資産	3,179	3,503
差入保証金	11,304	11,333
その他	6,633	6,591
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	22,140	22,466
固定資産合計	176,808	179,284
資産合計	221,376	229,276

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,394	28,359
短期借入金	200	200
1年内償還予定の社債	428	428
1年内返済予定の長期借入金	10,152	11,432
リース債務	86	85
未払法人税等	3,149	1,611
契約負債	3,696	3,219
賞与引当金	1,625	2,775
役員賞与引当金	92	22
その他	8,437	9,959
流動負債合計	53,262	58,095
固定負債		
社債	1,285	1,285
長期借入金	31,508	33,643
リース債務	37	17
役員株式給付引当金	131	140
預り保証金	6,721	6,585
資産除去債務	7,120	7,215
繰延税金負債	14	14
その他	698	682
固定負債合計	47,520	49,587
負債合計	100,783	107,683
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,912	3,912
資本剰余金	4,102	4,102
利益剰余金	112,044	113,044
自己株式	△221	△221
株主資本合計	119,838	120,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	120
退職給付に係る調整累計額	647	634
その他の包括利益累計額合計	754	754
純資産合計	120,592	121,593
負債純資産合計	221,376	229,276

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日)
売上高	102,032	105,980
売上原価	75,795	78,667
売上総利益	26,237	27,313
営業収入	1,679	1,769
営業総利益	27,917	29,083
販売費及び一般管理費	24,032	25,781
営業利益	3,885	3,302
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	19
受取事務手数料	47	50
補助金収入	27	43
その他	80	121
営業外収益合計	169	234
営業外費用		
支払利息	54	108
社債利息	1	1
その他	7	0
営業外費用合計	64	110
経常利益	3,991	3,426
特別利益		
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産除却損	20	22
特別損失合計	20	22
税金等調整前四半期純利益	3,970	3,409
法人税、住民税及び事業税	1,571	1,439
法人税等調整額	△331	△324
法人税等合計	1,239	1,114
四半期純利益	2,730	2,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,730	2,294

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	2,730	2,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	13
退職給付に係る調整額	2	△13
その他の包括利益合計	1	0
四半期包括利益	2,731	2,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,731	2,294
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、小売業のみを営んでおり、単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

当社グループは、小売業のみを営んでおり、単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	1,959百万円	2,218百万円